

どっかい

总主编 张正军
副总主编 黄莺



新日本语能力测试

新启航·挑战系列

考前强化训练N1·读解



郭勇 编著



上海交通大学出版社
SHANGHAI JIAO TONG UNIVERSITY PRESS

新启航·挑战系列

总主编 张正军

副总主编 黄 莺

新日本语能力测试 考前强化训练

N1·读解

郭 勇 编著



上海交通大学出版社

内 容 提 要

本书为新启航·挑战系列丛书新日本语能力测试考前强化训练的 N1 读解分册。根据最新日本语能力测试的基准及题型变化要求,将 N1 读解以出题类型及解题技巧分类,包括两大部分,第一部分系统讲解阅读理解的题型及应试技巧,第二部分则把练习与讲解相结合,即进行针对性的实战强化练习的同时作详细地解题思路点拨。阅读材料体裁多样,解说力求简明扼要,通俗易懂。

图书在版编目(CIP)数据

新日本语能力测试考前强化训练. N1. 读解/郭勇
编著. —上海:上海交通大学出版社,2010
(新启航·挑战系列)
ISBN 978-7-313-06328-1

I. ①新… II. ①郭… III. ①日语—阅读教学—水平
考试—习题 IV. ①H369.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2010)第 039734 号

新日本语能力测试考前强化训练

N1·读解

郭 勇 编著

上海交通大学出版社出版发行

(上海市番禺路 951 号 邮政编码 200030)

电话: 64071208 出版人: 韩建民

上海崇明南海印刷厂印刷 全国新华书店经销

开本: 787mm×960mm 1/16 印张: 14.25 字数: 254 千字

2010 年 4 月第 1 版 2010 年 4 月第 1 次印刷

ISBN 978-7-313-06328-1/H 定价: 28.00 元

版权所有 侵权必究

前 言

日本語能力测试(JLPT)是由日本国际交流基金会及日本国际教育支援协会于1984年建立的一套较为完整的考试评价体系,并于同年开始在有关国家和地区实施。2008年,世界上共有51个国家和地区的144个城市(除日本国内之外)举办此项考试,56万人报名参加,是世界上最大规模的日语考试。该考试以母语不是日语的人士为对象,测试其日语能力。参加日语考试的人员来源广泛,既有大学日语专业学生,也有因工作需要的社会人员,还有出于兴趣的中学生等。如今,日本語能力测试的成绩日益与留学、就业、升迁等紧密联系起来。

在我国,日本語能力测试由教育部海外考试中心负责组织和实施。截至2008年,全国24个省(自治区、直辖市)的30个城市设有60个考点。该考试从2009年开始每年举办2次,于7月和12月的第一个星期日上午实施。

从日本語能力测试设置开始26年来,应用语言学、日本語教育学、考试理论等不断发展,相应对于考试提出了许多新的要求和建议。国际交流基金会和日本国际教育支援协会于2005年设置了“日本語能力测试改善检讨会”,最终决定从2010年7月开始实施日本語能力测试改革。

新日本語能力测试改革具有以下几个关键点:

1. 试卷组成

N1~N5各级别试卷由“読む試験(文字・語彙、文法、読解)”和“聞く試験”,即阅读考试(包括文字・词汇、语法、阅读理解)和听力考试组成。不设口语考试和作文考试。

2. 制定的5个级别如下:

N1:与原有的1级水平及评价合格标准大体相同,只是在原有基础上略微提高能测定运用能力的难度范围。

N2:与原有的2级水平大体相同。

N3:相当于原有的2级与3级之间的水平。(新增级别)

N4:与原有的3级水平大体相同。

N5:与原有的4级水平大体相同。

3. 考试安排

新日本语能力测试一年考两次,分别为:

7月的第一个星期天:N1、N2、N3;

12月的第一个星期天:N1、N2、N3、N4、N5。

4. 采取“得分等化”

由于每次试卷无法完全做到难易程度相当,为了公平起见,将采取“得分等化”的方式,即尽量保证拥有同等能力水平的考生,不论参加哪次考试都将获得几乎相同的分数。也就是说,可能会根据题目的难易程度按照一个统一的标准来调整,以此来弱化题目难易程度对考生能力水平判断的影响。

5. 真题将不再出版公布

新日本语能力测试,将只公布各级别能力要求和样卷,不再出版和公布正式的考题。

6. 新日本语能力测试 Can-do list

仅凭考试的得分和合格与否无法判断该考生在实际生活中具体会使用哪些日语。因此,在新的测试中还将提供“新日本语能力测试 Can-do list”,作为对考试结果的解释。该解释主要显示各等级合格者在实际使用日语时的相应水平。该解释还具体举例说明合格者可能掌握的实际日语会话,根据这些实际日语会话,合格者本人和其他人能更具体地理解其考试结果。以下是“新日本语能力测试 Can-do list”的举例:

听:能理解学校、工作单位和公共场所等处播音的大体内容;

说:在打工或工作的面试中,详细叙述自己的期望和经历;

读:能看懂与自己关心的话题相关的报纸和杂志等的报道;

写:能写出表达感谢、歉意等传递感情的书信和邮件。

这次改革是一次彻底的改革,整个试卷从构成、内容到考生的备考方式都有了很大的变化,死记硬背的内容相对减少,而对应用能力的要求有了进一步提高。因此,对于之前仅仅为了考试而备考的考生来说,难度有了很大的提升。

正是为了适应这样的改革动向,满足考生的需求,我们在认真总结和借鉴国内外日语考试的基础上,编写了反映新日本语能力测试改革要点的系列丛书,因此,本套丛书在内容和题型的编排上具有以下特点:

(1) 题型丰富,内容全面。题库设计符合最新考试大纲的要求,海量试题,各项内容覆盖均匀合理,难易度适中,并提供专业级的解题思路。

(2) 答疑解惑,指导精辟,针对性强,尤其侧重对日语运用能力和语言理解的分析。

(3) 对命题趋势把握准确,条理清晰,逻辑性强。读者能够较快地在语言方面融入日本的社会,不出国门便能接触到日本的生活,增加其适应力和应变力。

(4) 形式立体,便于学习。模拟试题与听解分册配有听力录音,音质清晰、规范,并做成光盘(MP3 格式)。

本套丛书的最大特点是符合新日本语能力测试的要求,适合学生的学习特点,循序渐进,训练方法高效而又实用,突出加强日语运用能力的重要性。本套丛书的完成是一次大胆的尝试,体现了团队协作、集思广益、取长补短、资源共享和共同发展的合作精神。

由于此次改革力度较大,限于编者的水平,书中的不妥之处在所难免,诚望有关专家、学者及广大读者批评指正。

总主编 张正军

编写说明

在日本语能力测试中,阅读作为一个重要环节历来备受考生重视。阅读成绩的好坏直接关涉着考生总成绩的高低,在改革后的新日本语能力测试中,对各种题类的成绩都作了最低分数线的要求。也就是说,即便总分再高,若单科成绩达不到划定的基本及格要求,也会被视为不合格。此外,和语法、听力等题型的考题相比,读解部分显示出了相当的灵活性,非常考验应试者的变通能力和综合理解能力。倘若处理得当,就能拿到高分,同样,如果训练无术,稍有闪失就会痛失得分,从而导致考试成绩的下降。从历年来的日本语能力测试成绩的统计数据来看,读解部分的得分几乎成为了制约考生总成绩取得高分的一个重要瓶颈。如何突破这个瓶颈,提升考试成绩呢?毫无疑问,这就需要正确的解答方法,而正确的解答方法又是来源于平常的学习和有效的强化参考书。

调整后的日本语能力测试 N1 级别的读解部分共分以下四个题型:内容理解、统合理解、主张理解、情报检索几大部分。其中,“内容理解”根据文章篇幅再进一步地分为短文、中篇文章、长篇文章三种。主张理解的文章篇幅较长,约在一千字左右,内容多为社论、评论等。主要是考查考生在短暂的时间内,能否通读文章并抓住作者所要传达的主张或见解。情报检索是日本语能力测试改革后新出现的读解题型,其基本内容是把与日常生活相关的情景文本化,要求考生能从六七百字左右的广告、宣传册、情报杂志、商务文书中快速找出当事人必要的情报来。

本书就是为考生参加新日本语能力测试而编写的读解部分的辅导材料。本书内容充实,严格按照改革后的日本语能力测试的读解题型要求来遴选材料,具有很强的针对性。内容由简到难,难易程度适中,覆盖面

广,形式变化多样。尤其是针对改革后的新题型下了很大的功夫,精心准备了各种题材。

本书不是一本单纯的试题集,作者在总结了多年的日语学习和教学经验,还向读者提供了提高阅读能力的一些基本方法和技巧。此外,本书还在每一篇文章的答题后面附有解题思路,大大地方便了读者的学习。

目 录

第一部分 新日本语能力测试 N1 读解指南	(1)
一、题型	(1)
二、例题详解	(2)
三、阅读技巧及应试策略	(11)
四、不同体裁文章的阅读方法	(20)
第二部分 阅读实战与解析	(29)
一、内容理解(短篇文章)	(29)
二、内容理解(中篇文章)	(54)
三、内容理解(长篇文章)	(108)
四、主张理解	(134)
五、综合理解	(181)
六、信息检索	(205)

第一部分

新日本语能力测试 N1 读解指南

一、题型

新日本语能力测试 N1 读解部分共分以下四个题型:内容理解、综合理解、主张理解、信息检索。其中,“内容理解”根据文章篇幅来分有短文文章、中篇文章、长篇文章三种。

下面就各个题型作一个简单的综述:

内容理解(短文文章)

其内容包含范围较广,包括日常生活工作中涉及的各类话题。从文章的体裁来看,多为说明文和指令文,字数在 200 字左右。该类型阅读文章主要是考察考生是否充分理解了文章的内容。在文章的后面设有 4 个题目要求考生解答。

内容理解(中篇文章)

该题型的内容多为评论、解说、随笔性质的文章,篇幅在 500 字左右。主要是要测试考生能否理解存在于文章内部的一系列的因果关系、理由等。文章后有 9 个题目要求考生解答。

内容理解(长篇文章)

该题型的读解文章大多是 1 000 字左右的文章,内容主要涉及解说、随笔、小说等各种体裁的文章。在文章后面附有 4 个题目,主要是考察读者是否理解整体文章的概要以及笔者的观点等。

综合理解

综合理解是改革后的日语能力考试中出现的新的题型。在这类读解题型中,通常会出现两篇或两篇以上的文章(字数合计在 600 字左右)。主要是测试考生的比较综合能力,从多篇文章中找出相互之间的异同点。在文章后附有 3 道题目要求考生解答。

✿ 主张理解

主张理解的文章篇幅较长,约在1000字左右,内容为社论、评论等。主要是测试考生在短暂的时间内,能否通读文章并抓住作者所要传达的主张或见解。在这个体型的阅读材料后面,附有4道题目要求考生解答。

✿ 信息检索

信息检索是日语能力测试改革后新出现的读解题型,其基本内容是把与日常生活相关的情景文本化,要求考生能从700字左右的广告、宣传册子、情报杂志、商务文书中快速找出于当事人必要的情报来。在阅读文章的后面有2道题目,要求考生回答。

二、例题详解

✿ 内容理解(短篇文章)

【例文】

問題 次の文を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

音楽や美術、彫刻などの芸術は、聴く人の批評によって育てられる。悪い演奏をしたら、良くない作品を出品したら、其の芸術家は次に表舞台に出る機会を失う。ところが、医師や看護婦が行う医療の実践を評価できる患者は作られてこなかった。一般の人に知識を与えず、医療について評価できる患者がいない。だから医のアートが発展しないのである。これは患者にとってはもとより、医療者にとっても不幸なことではないか。

(日野原重明『いのちの言葉』による)

筆者がここで最も言いたいことは何か。

- 1 きちんとした医療の実践ができない医療者は表舞台から去るべきだ。
- 2 医療者を不幸にしないために、一般の人も医療の知識を持つべきだ。
- 3 医療も芸術と同様に、医療の良し悪しを評価できる患者が必要である。
- 4 悪い演奏や良くない芸術品は、病院における医療事故と同じである。

【正解:3】

❁ 内容理解(中篇文章)

【例文】

問題 次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

人間は案外、①機械と似ている。機械屋の娘だからなのかどうかはわからないが、私は常々そう思っている。

よく「人間は機械じゃない」といって、人間を機械のように酷使する会社のシステムを非難する人がいるが、私はその言い分に違和感を覚える。

機械はガソリンや電気が切れれば動かなくなるし、落としたり倒したりすれば壊れる。古くなれば動きが遅くなるし、できないことを遣らせようとしてもできない。酷使すれば壊れる。とても正直だ。

ところが人間は、給料、つまり人間にとってのガソリンを減らして前より「一層良く働け」と命令し、苛酷な労働を「精神性で克服せよ」と無理難題を押し付け、「疲れた」と申し出る人には「癒せ」と鞭を打ち、休んでいる人や生産性の低い人を「怠け者」と非難し、そしてとうとう壊れてしまった人を「弱い」と非難する。

②人間が人間を人間と見なせば見なすほど、非人間性は増していく。

人間に無限の可能性や能力や忍耐力なんてない。できることはできるし、できないことはできない。人間はもっと、③機械を見習ったらどうだろう。

(星野博美『迷子の自由』による)

1 ①機械に似ていると筆者が考える理由は何か。

- 1 給料が減れば苛酷な労働は無理だが、生産性は機械と変わらないから。
- 2 人間は無理難題でも強い精神性で克服し、機械のように強くなれるから。
- 3 機械と同じように、人間は少しぐらい働きすぎてもすぐに壊れないから。
- 4 人間も酷使すれば壊れてしまうため、その点では機械と変わりがないから。

【正解:4】

2 ②人間が人間を人間と見なせば見なすほど、非人間性は増していくとはどういうことか。

- 1 人間ががんばればできるのだと考えて、無理をさせてしまうということ
- 2 人間を機械のように酷使しても人間性が失われることはないということ
- 3 人間は働き続ければ、生産性や人間性を高めることができるということ
- 4 人間は一生懸命働ければ機械と同じ用に生産性を高められるということ

【正解:1】

③ ③機械を見習ったらどうだろうとあるが、筆者の考えに近いものはどれか。

- 1 機械のように休まずに動いていれば、どんな無理難題でも克服できるだろう。
- 2 機械と同じように、人間性や精神性などはあまり気にしないほうがいいだろう。
- 3 機械のように酷使されても壊れず、生産性を高められるようにしたらどうだろう。
- 4 機械のように、人間も無理なことはできないのだと認識したほうがいいだろう。

【正解:4】

❁ 内容理解(長篇文章)

【例文】

問題 次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

カラスは頭がいいというのは、みんな知っている。もはや常識といってもいいかもしれない。ごみにカラスが来ないように何かしかけても、すぐに見破られてしまい、「カラスって頭がいいんだなあ」と実感することも多いだろう。①人の思惑がカラスに見抜かれているようで、感心してしまうのである。

では、「頭がいい」というのは、どういう能力をいうのであろうか。

人間界では、抜群の記憶力を持つ人を「頭のいいね」なんていう。この点で言えば、鳥は「三歩歩くと忘れる」というくらい記憶力が悪い動物とされる。ところがカラスには、其れは当てはまらない。

宇都宮大学の杉田研究室では、いろいろな実験をしてカラスの能力を調べている。例えば、15人の顔写真をはった容器の一つだけに、大好物のドックフード(注1)を入れて覚えさせると、100%近い正解率を出す。しかも三週間ほどブランクをかけても成績は殆ど変わらないというから驚きである。三歩どころか三週間たっても忘れないのだ。しかし、カラスの仲間のマツカケスは一万余りも貯食場所を覚えているのだから、こんなことは朝飯前なのかもしれない。

状況を的確に判断して行動する人も、賢いといわれる。カラスはこの点でもすぐれた能力を見せる。

カラスの子育てを観察するときには、ブラインドと呼ぶ小さなテントを巢の近くに張って身を隠す。そうすればこちらの姿が見えないため、大方の鳥が警戒することなく、子育ての様子を見せてくれる。

しかし、カラスにはそうはいかない。渋谷のハシブトガラスの子育てを観察したときは、本当に苦勞した。たいていの鳥は、留守中にブラインドに入れば、意外とすぐに巣に戻る。もし、中々戻らなければ、ブラインドにいったん二人入り、一人だけ出る。そうすれば中にはもう人がいないと思って巣に戻る。鳥は算数できないためである。しかし、この方法でもカラスはだませない。もしかしたら、計算ができるのかもしれないと思ってしまう。このときは②結局、無人カメラ以外では観察ができなかった。的確な状況判断をし、危険を回避する能力がカラスは外の鳥よりもすぐれているという実例である。

じつは、カラスのこの能力が研究の障害になっている。鳥の研究は、脚環(注2)などの目印をつけて個体識別をするのが第一歩である。それにはどうしても捉まなければならないのだが、カラスの場合、③これがままならない。たしかに捕獲することはできる。しかし、トラップにはいるのはたいてい若鳥で、成鳥が捕まることはほとんどない。成鳥を捕まえて研究するのはまず無理である。日本有数の鳥の研究者で捕獲の名人といわれる人でも、カラスだけはあきらめたという。

(柴田佳秀『カラスの常識』による)

(注1)ドックフード:犬のえさ、ドッグフード

(注2)脚環:一羽一羽を見分けるために鳥の脚に付ける環

1 ここでの①人の思惑とはどんなことだと考えられるか。

- 1 カラスは頭がいいと常識的に思っていること
- 2 カラスの人に対する行動をよく思わないこと
- 3 カラスがゴミに近づかないように工夫すること
- 4 カラスの実際の行動に対して感心してしまうこと

【正解:3】

2 ②結局、無人カメラ以外では観察ができなかったのはなぜか。

- 1 ブラインドの中に人が一人でもいるかぎり、カラスは絶対に巣に戻ろうとしなかったから。
- 2 カラスはブラインドが近くにあれば、ブラインドを巣の代わりとして使ってしまうから。
- 3 カラスは人が巣を観察していることを知ると、戻ってきてその邪魔をしようとするから。
- 4 ハシブトガラスは人の留守中にブラインドの中に入って、他の鳥をだまそうとするから。

【正解:1】

③ ③これは何を指しているか。

- 1 危険を回避すること
- 2 カラスを捕まえること
- 3 成鳥を見つけること
- 4 脚環をはずすこと

【正解:2】

④ この文章から分かるカラスの能力はどんなことか。

- 1 カラスの能力については、実際にカラスを捕獲した結果、他の鳥より抜群に記憶力や状況判断能力が高いことが分かった。
- 2 カラスの記憶力鳥としては抜群にすぐれており、好物の実験からはイヌと変わらないぐらい記憶力よいことがわかった。
- 3 カラスを観察した結果、他の鳥より記憶力だけでなく、状況をみて判断し、行動する能力がすぐれている事がわかった。
- 4 カラスは頭がよいと思われているが、いろいろな実験結果からは記憶力以外は他の鳥とそれほど変わらないことがわかった。

【正解:3】

❁ 総合理解

【例文】

問題 次のAとBはそれぞれ別の新聞のコラムである。AとBの両方を読んで、後の問いに対する答えとして、最もよいものを1・2・3・4から一つ選ばなさい。

A

国語辞典『大言典』第四版が発売された。十年前の改訂(注1)以降の社会や生活の移り変わりを反映した言葉約一万項目が新たに加えられたという。収録語数は合計二十四万件余りと、同種の辞書の中では最多を誇る。

出版社によると、新たに盛り込まれたのは「逆切れ」など世相を反映した語の他、「イケメン」、「ラブラブ」といった若者言葉など。

「逆切れ」については「怒られた人は反対に怒り出してしまうこと」と書かれている。また、「イケメン」は「かっこういい男性」と説明。「ラブラブ」については「互いに愛し合っていて仲がよい様子」と説明されている。

今回採用された新語のうちカタカナ語が実に四割近くを占めた。長年改訂に携わっている担当者の一人は「選定の過程では、私自身もわからないことば

がいくつもあり判断に困った。若者には常識なんだろうけど」と話していた。

(中央経政新聞)

B

全面改訂された『大言典』第四版では、マスメディアやインターネットなどから収集した約十萬語のうち、一時の流行にとどまらず、人々の間に定着したと認められた新語を厳選。「ラブラブ」「イケメン」など約一万語が新たに増えたそうだ。

時代の流れに即した新感覚の辞書といえは響きはいいが、宣伝のための話題作り以上のものがあるだろうか。流行とはしょせん一時のもの。いずれ消えゆくものは自然に忘れ去られるまで放っておけばよい。

それゆえ、「家電(=自宅の電話番号)」「クールビス(=夏のビジネス用の服装)」などは、「一時の流行や狭い範囲だけで使われている」として、採用は見送られたのは賢明であろう。

(毎朝日報)

(注1)改訂:本や辞書を直して新しく出版すること

1 AとBのどちらの記事にも触れている内容はどれか。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 新たに盛り込まれた語の意味 | 2 選定するとき検討された語の数 |
| 3 今回新たに収録された語の数 | 4 今回不採用だった語の具体例 |

【正解:3】

2 この辞書が多くの新語を取り入れたことについて、Aの筆者とBの筆者はどのような立場をとっているか。

- 1 AもBも、ともに明確にしていない。
- 2 AもBも、ともに批判的である。
- 3 Aは批判的であるが、Bは明確にしていない。
- 4 Aは明確にしていないが、Bは批判的である。

【正解:4】

3 この辞書に新しく入らなかった語の不採用の理由は何か。

- 1 10年間の社会や生活の変化を反映した言葉だから。
- 2 一時的なもので幅広く使われている言葉だから。
- 3 選定の過程で担当者自身も知らないことばだったから。

4 新しい辞書の宣伝用の話題づくりのためだったから。

【正解:2】

✿ 主張理解

【例文】

問題 次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

歴史の教科書には、有史以来の「大事件」が山ほど取り上げられている。歴史の特色は、歴史が「起こったこと」の連続として書かれていることである。しかし、人間の毎日の活動の集積が歴史だとすれば、歴史の大部分は「起こったこと」の裏にある「なにも起こらなかったこと」で埋め尽くされていることに気づく。われわれの日常生活を考えれば、事件などほとんど起こらない。もっといえば、われわれは毎日、「事件」が起こらないように注意して生活している。車を運転する時には人にぶつけないように、料理をするとき、庖丁で手を切らないように、それで当たり前であろう。そう考えると、歴史の教科書の書き方はきわめておかしいという気がしてくる。

もちろん、「何も起こらなかったこと」をつなげても、歴史は書けないであろう。しかし、「起こったこと」だけを、つないだ歴史は何かが起こらないようにするために日常的に払われている努力を無視している。その意味では、①現実を誤解させる恐れが強い。ともあれ人間は「起こったこと」のほうを好む。ジャーナリズムを見れば、それがわかるであろう。歴史とジャーナリズムは、できごとの連続として世界を見る点で、根本的に似たもの同士である。何かが起こらないようにすることは、意外に大きな努力がいる。それが地味な努力ということである。歴史もジャーナリズムも、それを基本的に評価しない点で共通している。

医学の領域でも、これと同じように、予防医学は二の次、三の次におかれる。手術や投薬で病気が治れば、医者は感謝される。「起こらなかった」病気に、治療費を払う患者はいない。やったことに対する報酬で成り立つ世界、つまり経済中心の世界のおかしさは、そこにある。②そこでは予防に人気がないのは当然である。何かが起こらないようにするための努力が大切だと気づくのは、何かが起こってしまってからである。医者の忠告を無視して病気になれば、あのときいうことを聞いておけばよかったと思う。BSE(牛海綿状脳症、いわゆる狂牛病)の牛が出たと分かってから、飼料の原料をきちんと管理しておくべきだったという話になる。バブル期(注)にマネーゲームに手を出して損をした企業は、本業だけに精